

公益社団法人 大津市シルバー人材センター
令和4年度事業計画書

第1 大津市シルバー人材センターを取り巻く情勢

大津市の令和4年1月1日時点の高齢化率は27.3%です。滋賀県平均は26.7%で、大津市は0.6ポイント上回っています。湖南4市の平均が22.2%で大津市はこれを5.1ポイントも上回る現状です。大津市の高齢化率は令和12年には30%の大台に届くと推計されています。

一方、大津市の要介護・要支援認定者数の動向は令和2年の実績が17,548人で、高齢化率が30%に届く令和12年では24,455人と推計されています。令和2年からの10年間で約39%の増となります。

他方、要介護・要支援の認定を受けない高齢者数は、令和12年で77,847人に上ると推計されています。国は、少子超高齢社会が進む中、「生涯現役」を旗印に、これらの元気高齢者に様々な形で地域貢献いただけるよう施策を展開しています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大は発生から2年が経過し、ワクチンの3回目接種や新治療薬の開発など明るい兆しが見えていますが、克服の段階には至っていない現況です。

感染症の拡大とともに景気の動向が大変心配されますが、令和4年度は引き続き感染防止対策をしっかりと講じて、着実な事業推進に努めていく必要があります。

第2 基本方針

(1) 基本的な考え方

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大は、当センターの事業運営に大きく影響しました。令和4年度も引き続き感染防止対策を徹底しながら、事業を実施していきます。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、全国的には会員数の減少が見られましたが、当センターは微増を続けることができました。しかしながら、粗入会率は県内シルバー人材センターの中で最下位となっています。大津市内の数多い高齢者の皆さんに、シルバー事業の魅力を発信し、入会を促進していきます。特に、高齢者人口の男女割合からも加入率の低い女性高齢者の入会を促進します。
- ③ 高年齢者雇用安定法の改正により「事業主に70歳までの就業確保」が努力義務とされました。このことから、入会される新規会員の年齢層の上昇が推測されます。このような状況を踏まえ、請負事業、労働者派遣事業および職業紹介事業による「より一層の就業機会の確保」を推進します。

- ④ いくつになってもシルバー会員として在籍頂けるよう「いくつになっても就業」、「いくつになっても仲間づくり」および「いくつになっても地域貢献」ができる環境づくりを推進します。
 - ⑤ 「安全はすべてに優先する」を合い言葉に安全作業の「準備よし」、「対策よし」、「反省よし」の“3よし運動”を徹底し、安全・適正就業を推進します。
 - ⑥ 平成30年度に策定した中長期経営事業計画は、7年計画の4年が経過しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響やこれまでの進捗状況を総括しながら、中長期経営事業計画の見直しを行い、適確な事業計画としていきます。
- (2) 令和4年度重点事業の推進
- ① 安全意識の高揚（事業部会所管）
会員1人ひとりの意識の高揚を図り、“事故ゼロ”を目指します。
 - ② 分かち合い就業の推進（事業部会所管）
就業率を上げるため「(仮称)分かち合い就業推進委員会」を設置します。
 - ③ 「あなたのまちにシルバー会員」推進運動の実施（総務部会所管）
会員拡大のための具体目標として、「市内の全町丁に会員が少なくとも1名以上在籍」を掲げ、会員拡大を図ります。
また、女性会員の獲得を推進するため、女性が取り組みやすい就業をチラシ等で積極的に発信していきます。
 - ④ 「お疲れさん、もう一踏ん張り」事業の実施（総務部会所管）
長年当センターで生涯現役として活躍されている会員を表彰し、さらなる活躍をお願いするため「表彰制度検討委員会」を発足させます。
 - ⑤ 2025年問題対応調査検討について（福祉部会所管）
団塊の世代が後期高齢者の年齢に到達する2025年以降の訪問介護サービスや生活支援サービス等の適切な対応を調査検討します。

第3 事業の展開について

(1) 令和4年度事業の推進について

① 会員数の拡大

会員数の拡大を図るため例年開催している入会説明会および出張入会説明会に加え、Web入会や随時入会の運用を推進します。出張入会説明会の開催では会員が在籍しない町丁を対象に重点的にチラシ広報を行い、市内全町丁会員在籍を目指します。恒例となりました「Make 2nd Life 入会説明会」は、内容を拡充して開催します。また、パンフレットや入会案内、チラシ等の配架については、大津市を始め関係機関の協力を得て実施していきます。女性会員の入会を促進していくための方策を調査検討します。

② 就業機会の拡大

新規顧客の獲得のための営業活動や入札等の参加により就業機会の確保に努めます。また、国の現役世代サポート事業の対象とされる介護事業所支援サービスの実施を検討するほか、令和3年度に実施したポスティング実証実験を本年度も引き続き実施し、実験データの収集に努めます。

③ 就業率の向上について

就業率を向上させるため「(仮称)分かち合い就業推進委員会」を設置し、現状の把握、課題および対応策の調査検討を行います。その中で、会員1人ひとりの意欲、能力および年齢に応じたきめ細かなマッチングのあり方についても検討します。

④ 安全・適正就業の推進

安全意識の高揚のため、機会あるごとに定期広報物等による安全啓発や各種研修会を実施します。また、「準備よし」、「対策よし」、「反省よし」の“3よし運動”を実践していくため、就業やボランティア前の柔軟体操の実施や安全作業に必要な資材・物品等の整備を推進します。「反省よし」推進の一つとして、例年実施している安全パトロールを充実していきます。なお、安全・適正就業推進大会は部門（公益事業、収益事業）別に開催し、多くの会員に参加を求めます。

⑤ 収益事業（訪問介護事業）の推進について

令和2年度に取りまとめた5つの改善方策（会員の確保、育成、サービスの充実、処遇の改善および会員間の交流推進）は、令和3年度の事業実績を伸ばすなど一定の成果があったことから、引き続き改善方策に基づき事業を実施します。また、2025年以降の訪問介護サービスや生活支援サービス等について、量的な面において適切な対応が求められることから、5つの改善方策の検証と合わせて調査検討します。

⑥ お疲れさん、もう一踏ん張り事業（表彰制度検討委員会の設置）

生涯現役を見事に実践され、センター事業に大いに貢献された会員等を表彰し、他の模範としていくために「(仮称)表彰制度検討委員会」を設置し、大津市シルバー人材センターらしい具体の表彰規定や表彰基準を検討します。

⑦ 中長期経営事業計画の検証と見直しについて

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和3年度も開催できなかった進行管理委員会を開催します。進行管理委員会では、現中長期経営事業計画で見直しが必要な事項についてもあわせて検討し、議論していくこととします。

(2) その他事業の推進について

① 会員が主役になる事業の推進

会員の豊富な知識や経験、優れた技術等を活かし開催するシルバーカル

チャーター講座は令和3年度に継続して開催します。また、会員からの企画提案事業を推進するため、具体的方策を検討します。

② 円滑な地域委員会活動のための支援

新型コロナウイルスの影響で縮小された地域委員会活動を支援する方策を地域委員長会議の議論を経て、検討します。委員会では全戸ポスティング実施に向けた取組みおよび「あなたのまちにシルバー会員」推進運動についても議論します。

③ 適正かつ円滑な請負事業の執行

職群班長会議の議論を経て、安全・適正就業の推進と事業実施に係る諸課題の解決に努めます。また、適正就業ガイドラインの周知、徹底に努めます。

④ 会員相互の親睦事業の推進

会員の趣味・特技を応援する事業を推進します。「しろがねコーラス」と「写真クラブ」に加え、新たなクラブを立ち上げます。新たなクラブは会員相互の横の繋がりが醸成できることを目的に運営していきます。

⑤ 健康延伸事業の推進

会員の健康な生活を応援するため定期広報物等で新鮮で有用な健康情報を発信します。健康情報は、元気高齢者が体現されるよう身体に加え、心の健康にも留意したものとします。また、健康延伸に関する講習会を開催するほか、介護予防体操「しゃんしゃん体操」推進のための見直しを検討します。

⑥ 適正な事務処理の推進

事務局の事務処理を見直し、事務の的確化や効率化を図ります。